

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年10月21日(2021.10.21)

【公表番号】特表2020-531500(P2020-531500A)

【公表日】令和2年11月5日(2020.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2020-045

【出願番号】特願2020-510573(P2020-510573)

【国際特許分類】

C 0 7 C 231/12 (2006.01)

C 0 7 C 237/12 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 231/12

C 0 7 C 237/12

【誤訳訂正書】

【提出日】令和3年8月19日(2021.8.19)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0306

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0306】

一実施形態では、形態Aは、概して： $a = 10.1$ 、 $b = 10.9$ 、 $c = 32.7$ 、 $\alpha = 90^\circ$ 、 $\beta = 90^\circ$ 、及び $\gamma = 90^\circ$ の単位格子寸法を有する。一実施形態では、形態1は、概して： $a = 10.07$ 、 $b = 10.89$ 、 $c = 32.70$ 、 $\alpha = 90^\circ$ 、 $\beta = 90^\circ$ 、及び $\gamma = 90^\circ$ の単位格子寸法を有する。一実施形態では、形態1は、概して： $a = 10.066$ 、 $b = 10.887$ 、 $c = 32.698$ 、 $\alpha = 90^\circ$ 、 $\beta = 90^\circ$ 、及び $\gamma = 90^\circ$ の単位格子寸法を有する。一実施形態では、形態1は、 $P2_12_12_1$ の空間群の単位格子を有する。一実施形態では、形態1は、約 3583.0 \AA^3 / 格子の体積を有する。一実施形態では、形態1は、Z値8を有する。一実施形態では、形態1は、約 1.240 g/cm^3 の密度を有する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0314

【訂正方法】変更

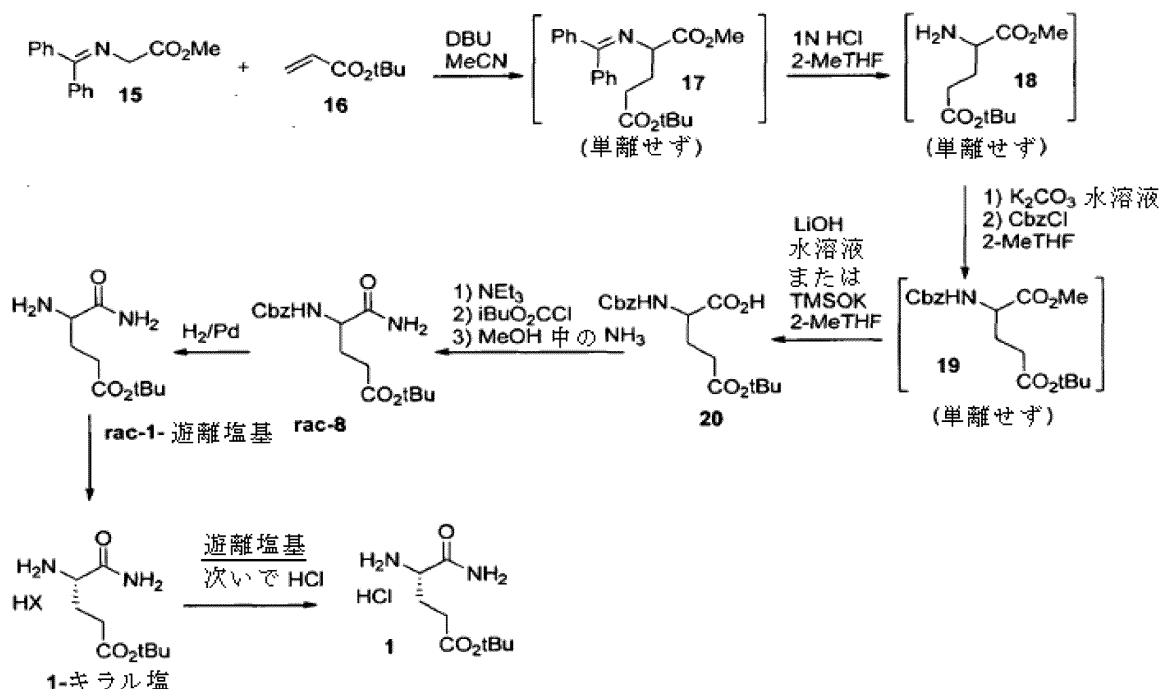
【訂正の内容】

【0314】

6. 実施例

本明細書中で使用する場合、これらのプロセス、スキーム、及び実施例で使用する記号及び慣習は、特定の略語が具体的に定義されているかどうかに関わらず、現在の科学文献、例えば、Journal of the American Chemical SocietyまたはJournal of Biological Chemistryで使用されているものと一致するものとする。具体的には、実施例及び明細書全体において以下の略語を使用する場合があるが、これらに限定されない： g （グラム）； mg （ミリグラム）； mL （ミリリットル）； μL （マイクロリットル）； M （モル）； mM （ミリモル）； μM （マイクロモル）； eq. （当量）； mmol （ミリモル）； Hz （ヘルツ）； MHz （メガヘルツ）； hr または hrs （時間）； min （分）；及び MS （質量分析）。特に明記しない限り、本明細書中で提供する化合物の水分含有量は、カールフィッシャー（KF）法によって測定する。

【化 1 6 3】



工程 1：化合物 17 の合成

MeCN (200 mL) 中のメチル 2 - ((ジフェニルメチレン)アミノ)アセテート 15 (24.6 g) の溶液に、DBU (1.45 mL)、続いて tert - ブチルアクリレート 16 (17.0 mL) を加えた。得られた黄色の溶液を室温 (25 °C) で攪拌した。24 時間後、反応が停止したことが判明したため、追加のアクリル酸 tert - ブチル 16 (4.26 mL) 部分を加えた。反応が完了したと判断された時点で (LCAP で約 3 % の SM が残存)、溶液を減圧下で約 3 倍量 (約 70 mL) に濃縮し、次の工程に移行した。化合物 17 の LCMS : LC - MS m/e 計算値 382.2 (M + 1) ; 実測値 382.2。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0401

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0401】

上記の手順により、生成物 37 の鏡像異性体の高比率 (> 99.75 : 0.25) がもたらされた。特に温度制御に関する偏差は、< 98 : 2 の比率をもたらし得る。上記の手順を使用した典型的な反応のキラル HPLC クロマトグラムの例を図 19 A に示す (化合物 37 9.19 分に溶出、面積 3109516、面積百分率 99.94、高さ 161194 ; R - 鏡像異性体 6.27 分に溶出、面積 1791、面積百分率 0.06、高さ 106)。35 の添加後、及び STAB の添加前に、6 時間の間、反応温度を $T_i = 15 \sim 20$ °C に維持した非定型反応のキラル HPLC クロマトグラムの例を図 19 B に示す (化合物 37 9.47 分に溶出、面積 4366151、高さ 259118 ; R - 鏡像異性体 6.32 分に溶出、面積 80091、高さ 4543)。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図 22

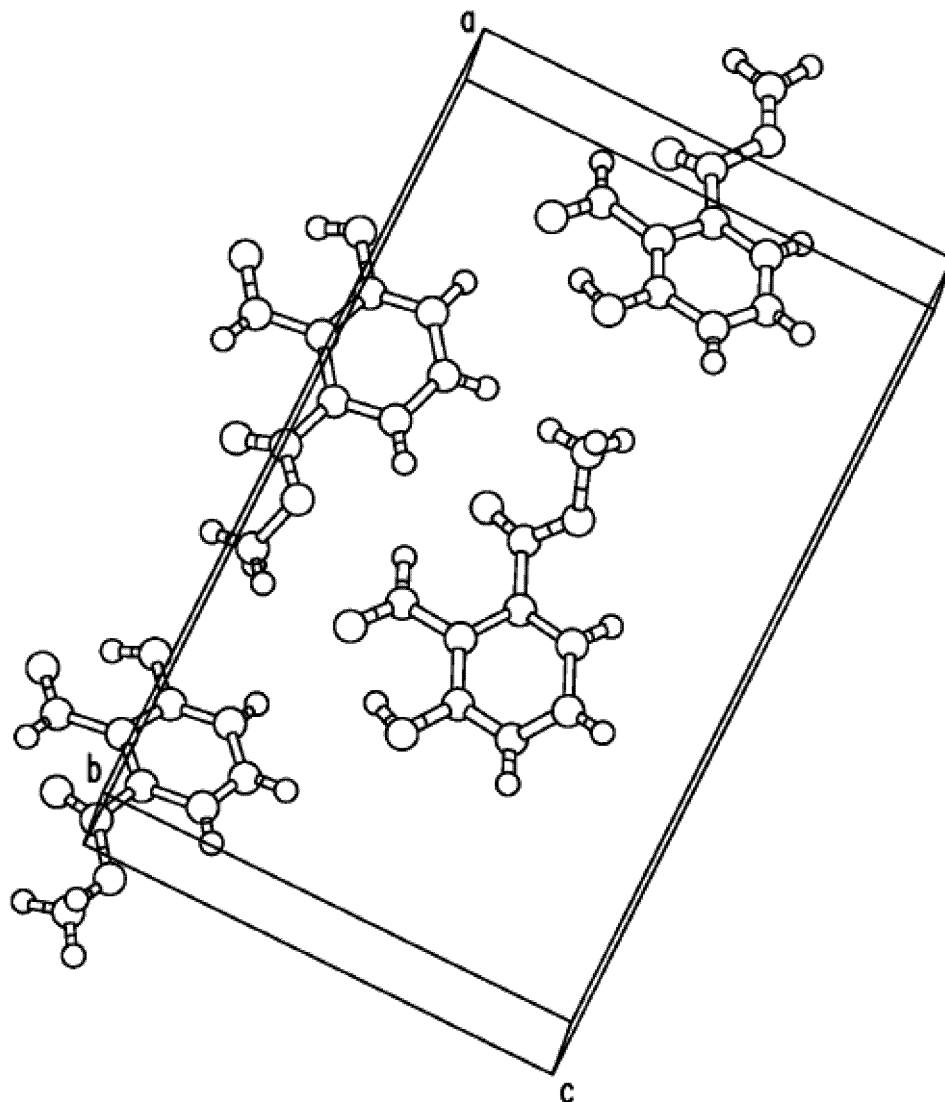
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 図 2 2 】

化合物 35 の形態 A の分子構造

ホール:P 2c -2n #33

 $a=19.458\text{\AA}$ $b=3.781\text{\AA}$ $c=11.261\text{\AA}$ $\alpha=90.000^\circ$ $\beta=90.000^\circ$ $\gamma=90.000^\circ$ 

【 誤 訳 訂 正 8 】

【 訂 正 対 象 書 類 名 】 図 面

【 訂 正 対 象 項 目 名 】 図 2 3

【 訂 正 方 法 】 変 更

【 訂 正 の 内 容 】

【 図 2 3 】

化合物 37 の形態 1 の分子構造

ホール:P 2ac 2ab #19

 $a=10.066\text{\AA}$ $b=10.887\text{\AA}$ $c=32.698\text{\AA}$ $\alpha=90.000^\circ$ $\beta=90.000^\circ$ $\gamma=90.000^\circ$ 